

合併に対する不安と対応

■行政区の拡大によってサービスが低下するのでは？

- ・ 合併して区域が広くなることにより、きめ細やかなサービスが低下するのでは？
- ・ 合併後の役場が遠くなり、不便になるのでは？

- ・ 旧町村役場を現地解決型の総合支所とし、身近なサービスの機能を維持します。
- ・ 情報通信技術を活用し、現在の市町村の枠を越えてサービスを受けることができます。

■行政サービスの低下と住民負担が増加するのでは？

- ・ 合併により、行政サービスが低下するのでは？
- ・ 一定のサービス水準を維持するために住民負担が増加するのでは？

- ・ できるだけ現在のサービスを維持し、住民負担が増加しないよう、行財政の効率化を一層推進して財源の確保に努めます。

■行政と住民との距離が拡大するのでは？

- ・ 議員数の減少など、地域の意見が反映されにくくなるのでは？

- ・ 地域自治区の設置により、地域の声を行政に反映させます。
- ・ 情報通信技術を積極的に活用し、公聴機能を強化します。



■地域格差が拡大するのでは？

- ・ 合併により、事業や施設が中心部に集中し、周辺部が寂れてしまうのでは？
- ・ 行政区の拡大に伴い、地域の課題の解決が難しくなるのでは？

- ・ 生活基盤や施設整備については、新市の均衡ある発展と一体性の確保を目指して施策・事業に取り組みます。
- ・ 地域組織を支援し、地域の課題は地域で解決する体制づくりを進めます。

■地域の個性や独自の文化が失われるのでは？

- ・ 地域固有の歴史や文化が失われてしまうのでは？
- ・ 地域組織が衰退してしまうのでは？

- ・ 地域の歴史や文化を資源として活かし、魅力あるまちづくりを進めます。
- ・ 新市に共通する郷土意識を醸成し、地域や世代間の交流を促すことで、活発な地域社会づくりを進めます。